消防秋田

題字
初代会長　松野盛吉
定価　１部　48円
（購読料は年会費に含む）
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目１番２号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長　髙橋正尚
電話　018－867－7320
FAX　018－863－5910
http://www.shoubou-akita.or.jp
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp
印刷
〒010-0951
秋田市山王７丁目５－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760
http://www.matsubarainsatsu.co.jp

令和三年度

第一回理事会・定時評議員会開催される

今年度の第一回理事会が四月二八日、定時評議員会が五月一三日に開催されました。

定時評議員会では、役員の任期満了や辞任に伴い、新たに監事三名、理事五名、評議員一〇名が選任されました。

その後に開催された臨時理事会で、空席となっていた副会長二名が選定されました。

主な決議内容は次のとおりです。

◆理事会

【承認事項】

①令和二年度事業の概要報告
②令和二年度会計決算承認
③監査報告
④役員等の候補者の推薦
⑤令和四年度秋田県消防大会の開催支部
⑥第五八回秋田県消防操法大会出場順の抽選

◆評議員会

【議事】

①令和二年度事業の概要報告
②令和二年度会計決算承認
③監査報告
④役員等の選任

【協議事項】

①令和三年度事業計画・収支予算
②業務執行体制の健全化
③令和四年度秋田県消防大会の開催支部

一般財団法人秋田県消防協会　理事・監事・評議員（令和３年５月13日現在）

〔理　事〕

役　職	氏　名	所属・階級等
会　長	髙橋正尚	美郷町消防団　団長
副会長	内田清隆	鹿角市消防団　団長
〃	菅原一太郎	横手市消防団　団長
〃	三浦公徳	井川町消防団　団長
理　事	佐藤和彦	秋田県総務部総合防災課　課長
〃	齋藤勉	大館市消防団　団長
〃	渡邊正人	能代市消防団　団長
〃	佐藤孝吉	湯沢市消防団　団長
〃	永澤靖雄	秋田市消防団　団長
〃	伊藤博	由利本荘市消防団　団長
〃	工藤琢磨	秋田市消防本部　消防長
〃	佐藤広樹	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　消防長
〃	高杉誠	能代山本広域市町村圏組合消防本部　消防長
業務執行理事	佐藤功	秋田県消防協会　事務局長

〔監　事〕

役　職	氏　名	所属・階級等
監　事	武石聡	上小阿仁村消防団　団長
〃	金子英紀	にかほ市消防団　団長
〃	鈴木修	東成瀬村消防団　団長

〔評議員〕

役　職	氏　名	関係する消防機関
評議員	澤口紀夫	小坂町消防団
〃	板橋和男	鹿角市消防団
〃	杉渕一弘	北秋田市消防団
〃	長岐篤市	北秋田市消防本部
〃	石井義則	三種町消防団
〃	菊地直人	八峰町消防団
〃	伊藤孝年	藤里町消防団
〃	佐藤和春	男鹿市消防団
〃	門間勉	潟上市消防団
〃	小玉多智美	五城目町消防団
〃	齊藤一	八郎潟町消防団
〃	松橋稔	大潟村消防団
〃	佐々木徹	秋田市消防団
〃	大山司	秋田市消防団
〃	阿部一彦	由利本荘市消防団
〃	佐藤剛	由利本荘市消防本部
〃	佐藤一	大仙市消防団
〃	渡辺勇悦	仙北市消防団
〃	柴田和久	横手市消防団
〃	髙橋良則	横手市消防団
〃	武田継夫	羽後町消防団
〃	近野仁	湯沢市消防団
〃	大友佳人	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

令和２年度決算〔正味財産増減計算書〕

（2020年４月１日～2021年３月31日）　（単位：円）

科目		当年度	前年度	増減
経常収益計		27,612,476	30,141,564	△ 2,529,088
主な内訳	基本財産運用益	255	255	0
	掛　金	5,209,200	5,340,000	△ 130,800
	事業収益	198,000	299,300	△ 101,300
	受取補助金等	10,733,974	11,783,465	△ 1,049,491
	受取負担金	5,766,354	6,600,539	△ 834,185
	会　費	5,360,100	5,492,100	△ 132,000
	その他経常収益	344,593	625,905	△ 281,312
経常費用計		24,043,975	30,127,786	△ 6,083,811
主な内訳	給与等	11,844,129	11,985,808	△ 141,679
	旅費交通費	877,821	3,179,921	△ 2,302,100
	消耗什器備品費	2,864,612	3,529,925	△ 665,313
	印刷製本費	1,410,398	2,311,441	△ 901,043
	支払助成金	0	1,653,543	△ 1,653,543
	委託費	1,380,583	1,687,226	△ 306,643
	互助会見舞金	2,080,000	1,650,000	430,000
	その他経常費用	3,586,432	4,129,922	△ 543,490
当期経常増減額		3,568,501	13,778	3,554,723
当期一般正味財産増減額		3,568,501	13,778	3,554,723
一般正味財産期首残高		109,505,206	109,491,428	13,778
一般正味財産期末残高		113,073,707	109,505,206	3,568,501
正味財産期末残高		113,073,707	109,505,206	3,568,501
主な内訳	基本財産	3,000,000	3,000,000	0

新消防長紹介

【令和三年四月一日就任】

能代山本広域市町村圏組合消防本部　高杉　誠

五城目町消防本部　伊藤忠恭

男鹿地区消防一部事務組合消防本部　石川浩之

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　大友佳人

新消防団長紹介

【令和三年四月一日就任】

北秋田市消防団　杉渕一弘

八峰町消防団　菊地直人

井川町消防団　三浦公徳

潟上市消防団　門間勉

男鹿市消防団　佐藤和春

秋田市消防団　永澤靖雄

由利本荘市消防団　伊藤博

にかほ市消防団　金子英紀

横手市消防団　菅原一太郎

令和三年春の叙勲
第三六回危険業務従事者叙勲

令和三年春の叙勲及び第三六回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、本県の消防関係では叙勲二三名、危険物業務従事者叙勲八名の方々が受章されました。

誠におめでとうございます。

（記載は五十音順）

令和三年春の叙勲

◆瑞宝小綬章（一名）

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
消防正監　髙橋庄孝

◆瑞宝双光章（一名）

元横手市横手消防団
団長　冨田昭

◆瑞宝単光章（二一名）

元三種町消防団
団長　青山竹千代

元八峰町消防団
副団長　阿部富廣

元大館市消防団
副団長　石川久晴

元大仙市消防団
副団長　伊藤弘

元小坂町消防団
分団長　大内正富

元羽後町消防団
団長　柿崎眞悦

元湯沢市消防団
副団長　兼子賢一

元大館市消防団
副団長　北村鉄正

元湯沢市消防団
団長　軍司信幸

元美郷町消防団
副団長　斉藤一夫

元由利本荘市消防団
副団長　齋藤安雄

元由利本荘市消防団
副団長　佐々木勝美

元秋田市消防団
分団長　佐々木英久

元男鹿市消防団
分団長　佐々木嘉明

元北秋田市消防団
分団長　辻力夫

元稲川町消防団
分団長　日野哲作

元横手市大森消防団
副団長　福田秀夫

元五城目町消防団
団長　藤井好春

元横手市十文字消防団
団長　細川祐一

元鳥海町消防団
分団長　村上儀一

元潟上市消防団
分団長　渡邊雅史

第三六回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章（七名）

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
消防司令長　大澤善樹

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部
消防監　大髙正人

元秋田市消防本部
消防監　工藤春一

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
消防監　菅政美

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部
消防司令長　登藤誠一

元鹿角広域行政組合消防本部
消防司令長　米田均

元秋田市消防本部
消防司令長　吉成勉

◆瑞宝単光章（一名）

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
消防司令長　沼倉博巳

第七五期 初任教育始まる

四六名が新たな一歩を踏み出す

秋田県消防学校

秋田県消防学校の初任教育第七五期入校式が四月九日（金）、県内一一消防本部から四六名の入校生並びに来賓など約九〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、加藤金孝校長の式辞に続き、堀井啓一秋田県副知事、工藤琢磨秋田県消防長会長、髙橋正尚秋田県消防協会長が祝辞を述べ、入校生を代表し秋田市消防本部の加藤翔磨消防士が宣誓を行いました。

初任教育は、九月一七日まで行われ、警防隊員として活動できる能力を養成します。

初任教育第75期入校生名簿

秋田市消防本部
武田佳輝　遠藤敏希
柏谷康太　加藤翔磨
塚田　竣　工藤琉希也
加勇田怜王　佐藤友飛
石田芽衣　髙橋　楽

大館市消防本部
藤原昂太　松澤栞太

由利本荘市消防本部
髙橋　駿

にかほ市消防本部
齋藤滉平　佐々木洸凜

横手市消防本部
佐藤健大　照井大瑛
竹村遥翔

鹿角広域行政組合消防本部
畑澤壱希　大畑善裕
田中優真

能代山本広域市町村圏組合消防本部
佐々木柊翔　山内優真
今　翔太　板倉悠斗
伊勢優磨　大澤将史
山崎貴翔　石山凌翔

湖東地区行政一部事務組合消防本部
樋渡奈瑠人

男鹿地区消防一部事務組合消防本部
大高稀尋
髙桑　駿　加藤星那
伊藤　快

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部
鈴木京介　照井　陸
齋藤輝弥　石神佑将
山形凌夏　髙貝柊斗
小松陽生

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部
藤原慶人　田口俊樹
田口大翔　谷藤桂吾
佐々木　駿

秋田県消防学校職員名簿

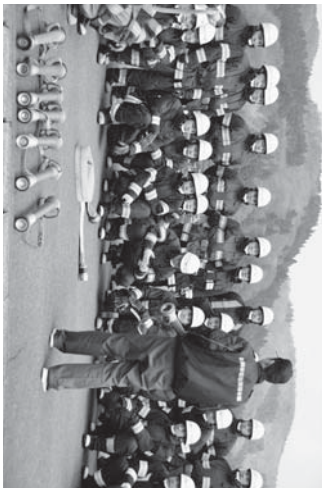
校　　長　加藤金孝
副 校 長　堀井正人
副校長・班長　大野光徳

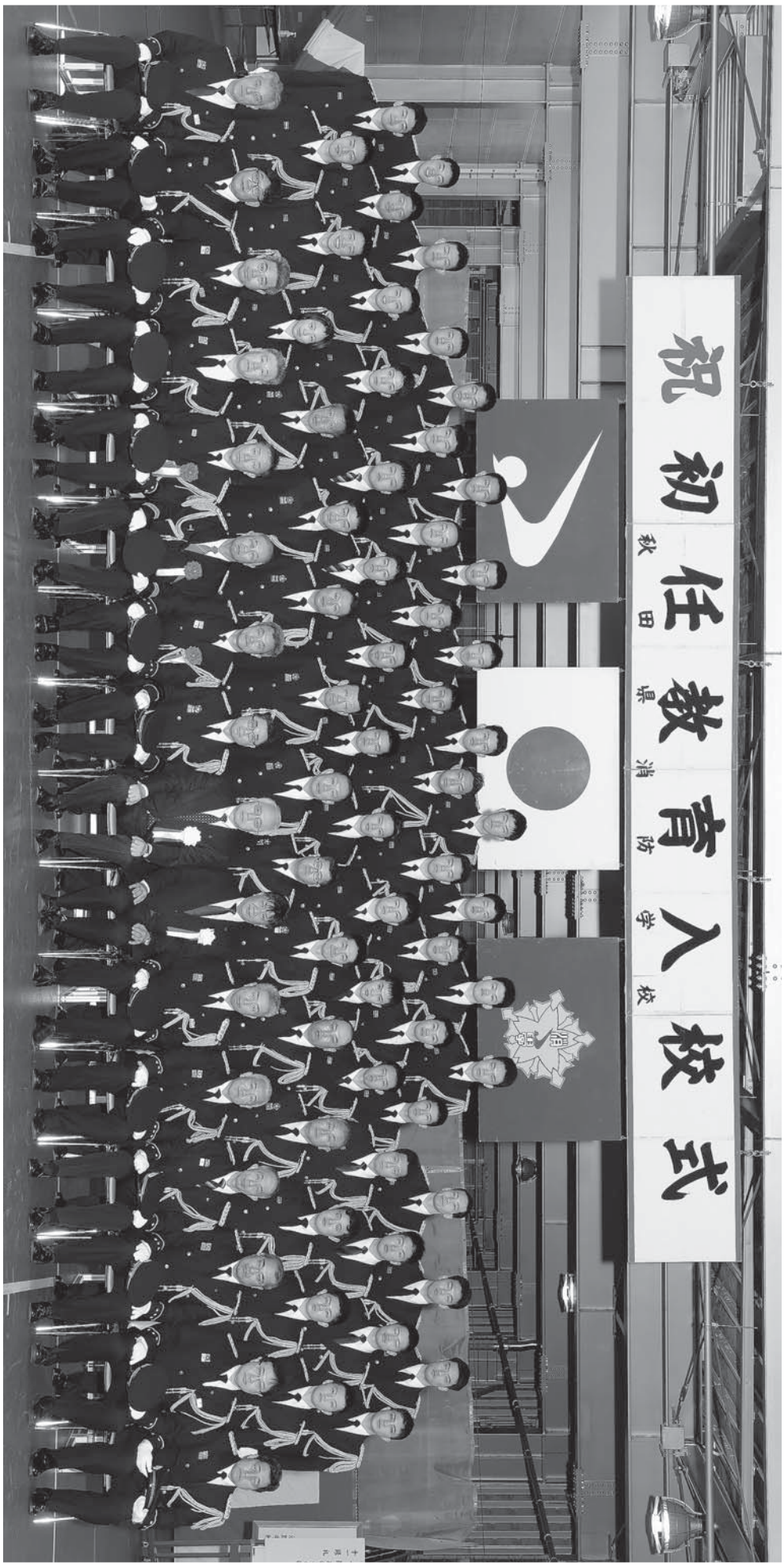
総務班

副主幹・班長　齊藤英則
副 主 幹　手塚　昇
主　　事　木村菜摘
技能主任　齋藤佳人
舎　　監　今野裕徳
舎　　監　吉成　勉
舎　　監　鎌田千尋
防災学習館説明員
佐々木美香
丸山恵子
鈴木　忠

教務班

副校長・班長　大野光徳
主　　幹　原田　訓
副 主 幹　池田敏英
副 主 幹　佐々木直樹
副 主 幹　齋藤広幸
副 主 幹　三浦克己
専 門 員　伊藤弥真彦
講　　師　大澤善樹




祝
初
任
教
育
入
校
式
秋
田
県
消
防
学
校

第七五期初任教育 一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校

武田　佳輝（秋田市消防本部）

入校後一ヶ月が経ち、あっという間だったと感じています。新しい環境での共同生活や授業、訓練に不安も多かったが、次第に慣れ、同期との仲間意識も生まれてきました。

特に感じたのが、実際に行動に移し継続することの大切さです。各自の目標を全員の前で宣言しましたが、その後、教官から「言うのは誰にでもできる」と言われたのが印象に残っています。

言葉にするのは簡単ですが、行動に移し継続するのは大変です。知識や技術は日々の勉強や訓練の繰り返しで身につくものだと思います。日々の鍛錬を怠らないようにします。

これからの生活でも、慣れて気が緩まないように、授業や訓練に臨む姿勢や時間の使い方などを見直し、入校時の目標を見失うことなく、消防吏員として社会人として一回りも二回りも成長できるよう、緊張感と高い意識を持って、一日一日を全力で過ごしていきたいです。

松澤　栞太（大館市消防本部）

寮生活など入校後の殆どが初めての経験だった。だが、周りの学生たちはとても接しやすく、助け合いながら生活に慣れることができた。

授業も殆どが初めてのことだった。訓練礼式では、通常点検のやり方を時間をかけてやった。まだ全然できていないが、九月の校長査閲までしっかり完成できるようにしたい。

座学でも、消防法、火災防ぎょ、消防用設備などたくさんの教科があったが、全てゼロからのスタートだった。

何もわからない状態で、飲み込みが難しかったが、毎時間しっかり話を聞けたと思う。

来月から効果測定があるので、全て合格できるよう勉強に励みたい。

訓練では、結索と三連梯子をやった。結索はいろいろなものに使うので、復習を続けていきたい。

三連梯子も使う機会は多い機具だと思うので、今のうちに使い方をマスターしたい。

一ヶ月を過ごしてみて、自分がどれだけ未熟かがわかった。これから覚えることも増えてきて大変になると思うが、より多くのことを身に付けられるように頑張っていきたい。

佐藤　健大（横手市消防本部）

一ヶ月が経ち、集団生活にも大分慣れてきました。

入校時のスピーチでは、消防職員らしい機敏な行動力を身に付けたいと発言しました。

また、訓練などを通して、半年後には、現場で即戦力になれるように日々努力する決意で入校しました。

しかし、思いだけで叶うものではなく、授業でも科目ごとに覚える内容が多く、復習をしっかり行い、次の授業への準備を行うようにしました。

訓練でも、現場を想定して緊張感を持って活動することが大切なので、自分が行うことの呼称を意識したり、機敏に行動することを心がけました。

しかし、四月は、覚えたことを思い出しながら取り組むことで精一杯でした。これでは、周りの危険や状況に配慮しながら、冷静な活動をしていくことはできません。

したがって、その日の訓練を整理して、三連梯子の操作や呼吸器点検、着装などスムーズに行えるようにしたいです。

そして、防火衣着装など速さを縮めることにも力を入れていきます。

大澤　将史（能代山本広域市町村圏組合消防本部）

入校した当初は、生活環境に慣れなければという不安と焦りがあり、周りが見えず失敗ばかりでした。

また、私はコミュニケーションを取るのが苦手で、中々同期に話しかけることができませんでしたが、集団生活にも慣れ、同期と切磋琢磨し合う中で仲間も増え、絆もより一層深めることができました。

この一ヶ月を通じて、改めて感謝することの大切さを実感しました。

消防学校に入校できているのも、市民の皆さんや友人、家族など多くの方々の支えがあって実現できています。

また、日々訓練や勉学に励む環境を与えてもらっていることを忘れてはなりません。

だからこそ、一日でも早く一人前の消防士になり、最前線で活躍できるように知識や技能を身に付けていきたいと考えています。

市民の皆さんに恩返しができるように、感謝の気持ちを忘れず、人として消防士としても成長できるように、残りの期間頑張っていきますので、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

伊藤　快（男鹿地区消防一部事務組合消防本部）

一ヶ月を振り返ると充実した時間であっという間だった。七五期の仲間との仲も深めることができた。

訓練礼式では最初は動きがばらばらで、うまくいかないことが多かった。今でも完璧ではないが、少しずつ上達しているのを感じる。

通常点検も、初めは時間がかかっていたが、最近はスムーズにできていると思う。これからも動きを合わせ、節度を持った動きができるようにしたい。

四月は、第一回の体力測定があった。自分の現状を知ることができた。自主鍛錬時間などを活用し、次の測定ではより上位を目指して努力するつもりだ。

また、体力と同じくらい知識も大事である。授業の復習をしっかり行い、必要な知識を身に付けていきたい。これから各教科の効果測定も始まるので、良い成績を残せるよう努力したい。

四月の最後は実務研修があった。消防学校で学んだことを発揮することができたと思う。また、様々なことを教えていただき、自分の力になった。とても充実した一日だった。

残り五ヶ月、たくさん学び、訓練し、成長できるようがんばりたい。

山形　凌夏（大曲仙北広域市町村圏組合消防本部）

消防士としての人生がスタートするという期待と新生活に上手く対応できるかという不安を持ち入学してから一ヶ月、少しずつ成長できていると思います。

その一つとして、自己管理がこれまで以上に徹底してできていると思います。

身の回りの整理整頓、時間管理はもちろんのこと、革靴の手入れ、制服のアイロンがけなど、細かいところまで自分で気がつき管理できています。

消防士という仕事上、地域の方々からたくさん注目を浴びます。

その中で自己管理できるのは当たり前のことで、消防学校を修了してもしっかり行っていきます。

また、結索、三連ばしご、小型ポンプ操法などの訓練も始まりました。

この訓練をすると「自分は消防士なんだ」と身が引き締まる思いです。

これまで経験したことのないことばかりですが、一つずつ覚えて精度を上げていきたいと思います。

これから厳しい訓練もありますが、耐え抜いて、消防士として成長していきたいと思います。

田口　俊樹（湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部）

入校して一ヶ月が経ち、凄く短い一ヶ月だったと感じた。

最初は緊張し、座学・訓練についていけるかや寮生活に慣れることができるかなど不安でいっぱいであったが、仲間と協力し合いながら頑張ることができた。

残りの五ヶ月も早く感じると思う。だからこそ一日一日を大切にして何事にも取り組んでいきたい。

座学では、消防法や救急、危険物など様々な分野を勉強している。

消防の業務を全うするためには、しっかりとした知識を身に付けることが大事なので、授業はもちろん自習時間や休みの日なども上手く活用して知識を身に付けたい。

訓練では、基本結索や小型ポンプ操法、三連梯子などを行っている。

すべて現場で必要となるので、一つ一つの訓練に集中して取り組んでいきたい。分からないところは教官の方々に聞き、納得できるように心がけていきたい。

座学・訓練はもちろん、寮生活でも様々な人たちと関わることになる。辛いこと、苦しい事もあると思う。そこは、同期の仲間達と協力し合いながら、半年間頑張っていきたいと思う。

モリタ消防ポンプ　シバウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185)(52)6494
(52)6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL 018（863）1551㈹
猿田興業ビル3F　FAX 018（824）3651

支部情報アラカルト

令和三年度 横手市支部評議員会を開催

四月二三日(金)、新任の菅原支部長のもと新役員体制となり、副支部長二名、理事・監事九名、評議員一九名が出席し、横手市役所条里北庁舎を会場に令和三年度秋田県消防協会横手市支部評議員会を開催しました。

支部長の挨拶では、役員を始め消防団員の協力を得ながら事業を推進していくと共に、消防団員の処遇改善に努めていきたいとの抱負が述べられました。

議事に入り、新役員を含む支部役員の報告と令和二年度事業報告が行われました。

令和二年度の事業は、数々の研修や訓練等が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や規模を縮小しての開催となりました。

続いて、令和二年度収支決算、令和三年度事業計画・収支予算案が承認されました。

今年度も横手市支部は、消防団員一人一人の技術向上と安全な活動を目的に、研修や訓練等の事業を新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら推進してまいります。

（情報提供＝横手市支部）

第七三回秋田県消防大会を延期、第五八回秋田県消防操法大会を中止します

新型コロナウイルスの感染拡大や変異ウイルスの脅威が広がっていることから、消防団員やその家族、関係者の安全を最優先することとし、秋田県消防大会を再度一年延期、秋田県消防操法大会を中止することに決定しました。ご了解ください。

安全な環境で安心して活動できる日が、一日も早く来ることを祈っております。

火災の発生状況（速報値）

（秋田県総合防災課調べ）

	令和３年		令和２年			同期比較	
	５月	累計	５月	累計	年計	５月	累計
建　物	12	94	14	67	173	－２	27
林　野	1	12	6	16	24	－５	－４
車　輌	4	17	1	8	26	3	9
その他	10	32	9	42	82	1	－10
合　計	27	155	30	133	305	－３	22
死者数	2	15	1	4	23	1	11
負傷者数	5	30	6	18	60	－１	12

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社 高義商会
（営業種目）トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タカギ
秋田県横手市寿町１番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ　消防設備保守点検
トーハツポンプ ◇ キンパイホース
各種消防機械器具　各種消火器
ホームページ http://it-yokote.sakura.ne.jp/
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp